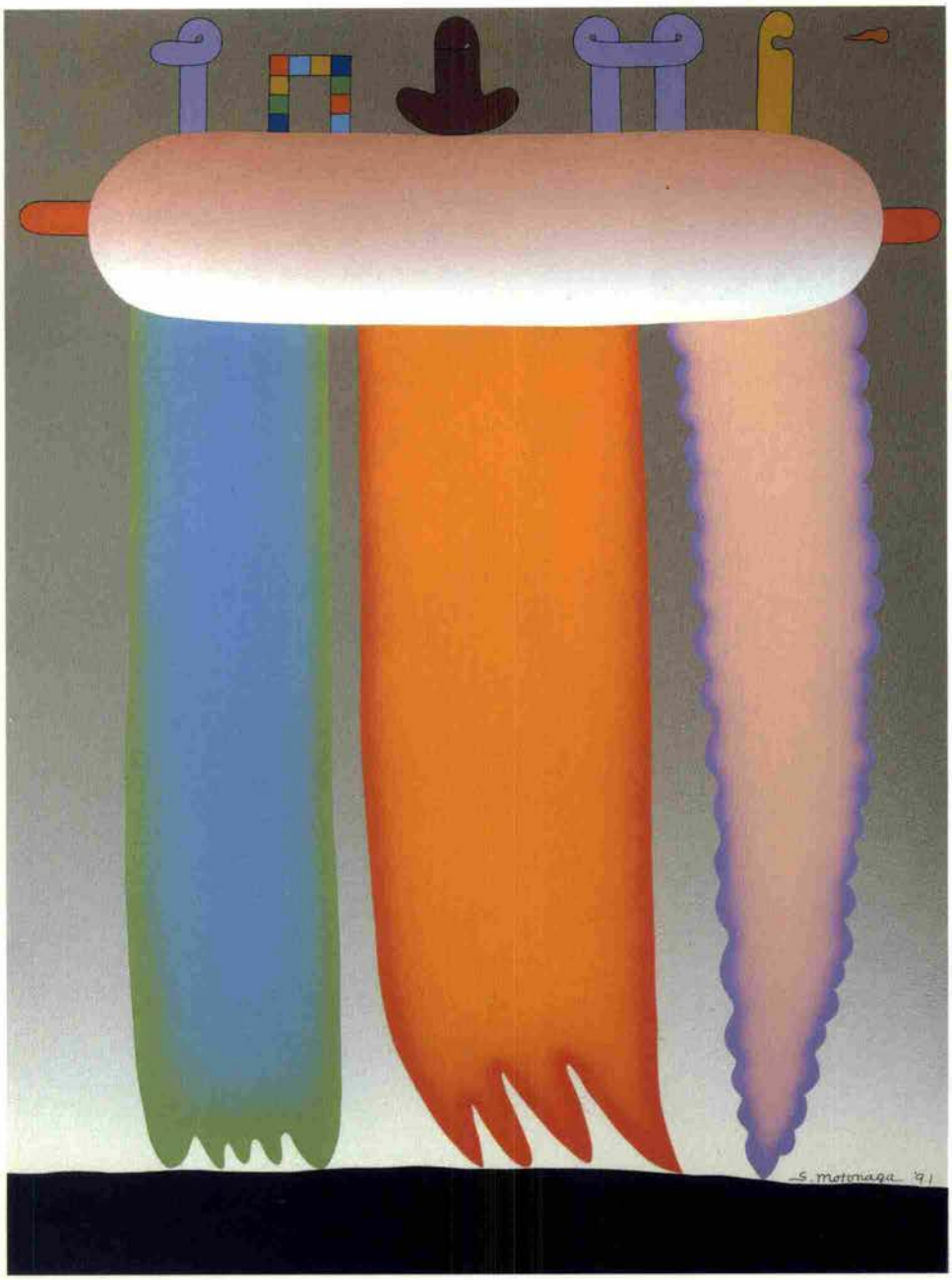
MONTHLY MAGAZINE

1999年8月1日発行（毎月1回1日発行）第38巻第8号（通巻459号）昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

KOBECCO

August'99 No.459 月刊 神戸っ子8



★第23回井植文化賞 発表

★住宅特集 KOBE流 住まい方

〈ゲスト〉トーク 中村鴈治郎 安藤忠雄 中島らも

〈連 載〉エッセイ 村松友視 ショートショート 玉岡かおる

SANYO

人と・地球が大好きです

音楽をシェアしよう♪

こんな カオして ポータブル MDシステム。

MD-U4

◎薄型・コンパクトでキャリアブル「録・再MDシステム」

◎小型ボディでも立体感あふれる高音質「迫力のクリアサウンド」

◎犬のキャラクターが動いてお知らせ「楽しい液晶表示」

◎パソコンに接続して「簡単MD編集、らくらくタイトル入力」

※別売パソコン接続キット PCK-MDG100 標準価格10,000円(税別) (Windows® 95/98対応)をご使用の場合

http://www.md-u4.com/

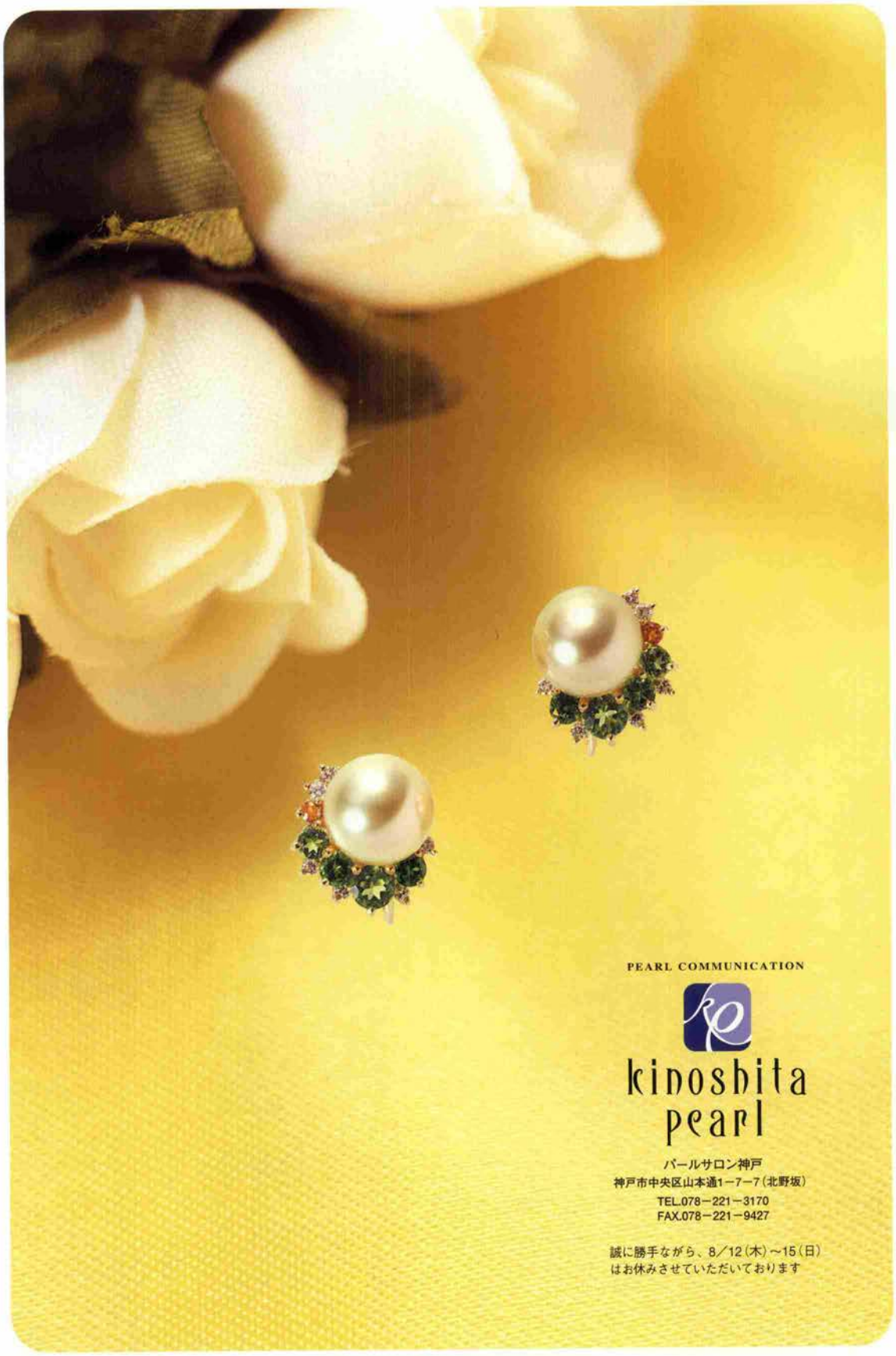
□付属品:ACアダプター×1、録音用ケーブル×2、AMループアンテナ×1

◎ご使用の際は、必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください

MDG-U4R(D) 標準価格50,000円(税別)

MDG-U4T(S)
標準価格
50,000円(税別)

三洋電機株式会社／三洋ライフ・エレクトロニクス株式会社



PEARL COMMUNICATION

kinoshita pearl

パールサロン神戸
神戸市中央区山本通1−7−7（北野坂）
TEL.078−221−3170
FAX.078−221−9427

誠に勝手ながら、8／12（木）〜15（日）
はお休みさせていただいております

ゆらゆらきらめく
JEWELRY タジマ
神戸市元町2丁目TEL.078(331)5761

kansin **street gallery**〈122〉

——アート&クラフト'99——
第8回　井上　誠

群青

いのうえ　まこと
〈初代神戸マイスター〉
神戸市中央区在住

新世紀を迎えるにあたっての期待と焦燥感。破壊を恐れたり世紀末を憂える必要はない。新たなる誕生。それを促すものは何か。具像であれ抽象であれ、制作中に感じるあの高揚感。新世紀への萌芽。もう始まっている。

"ベイシティバンクかんしん"は「共感・対話・信頼」を企業理念として、地域の文化・芸術の育成に努めております。

この"かんしんストリートギャラリー"も芸術の香りをほのかに漂わせたアートスポットとして、本年は「アート&クラフト'99」と題したシリーズで様々な作品を紹介してまいります。

生田新道に面したストリートギャラリー

kansin　ふれあいウェーブ——ベイシティバンク

関西西宮信用金庫
神戸市中央区下山手通2丁目12-3　〒650-0011
PHONE (078) 332-5151 (代) Fax (078) 333-9874

KOBE EXCELLENT FASHION

Sanohe

長い間ご愛顧いただきました本店とヌーベルサノへを
統合し、新しく「サノへ」として生まれ変わります。
今度ともよろしくお願い申し上げます。

撮影／米田英男

KOBE EXCELLENT SHOP

★選りすぐった一点を…

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-11 TEL.321-1710

★神戸唯一のボルボネーゼトータルブティック

BOUTIQUE Omura

神戸市中央区元町通3-2-18
ボルボ店　TEL.391-0014
ビアンコ・ドンナ店　TEL.391-4601
（クーカイ店）

★よろず御襦衣縫上處

神戸シャツ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6　TEL.331-2168

LIZA

神戸市中央区三宮町2丁目6-1　TEL.391-6806

★婦人帽子

maxim マキシン

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13（トアロード）
TEL.331-6711　全国有名百貨店婦人帽子売場

★伝わる真ごころ　最高の風格

手づくり
お誂え紳士服

bespoke Boutique
欧風館
KOBE

創業明治16年　㊎ 株式会社 柴田音吉商店

本　店　神戸　元町本通4丁目アーケード南 TEL. 341-1161
東京店　東京　帝国ホテル　アーケード内 TEL. 3503-7973

KOBECCO

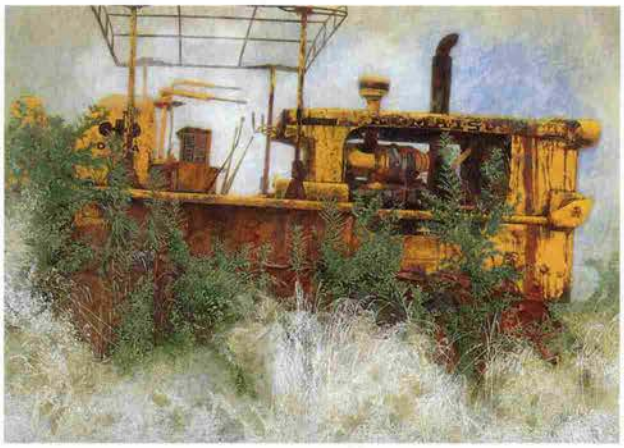
月刊神戸っ子8月号

No459

AUGUST '99

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

表紙／元永定正「いつつのかたちはうえのほう」



西田眞人「置き去り」

24
第23回井植文化賞 発表
文化芸術　科学技術　社会福祉
地域活動　報道出版　国際交流

51
住宅特集
KOBE流 住まい方
「店と住まいと」
山形平八郎 邸
「大地へのこだわり」
有馬啓子 邸

interview

10
酔っ払いは本当に馬鹿だなあ、って
中島らも

97
音楽を生きものみたいに扱えたらなぁ
浜崎貴司

talk

91
春夏秋冬 かも・ネギ100人衆の集い
麻雀の醍醐味を大いに語る
中西勝　木村憲吾　佐藤 廉
麓 毅　久次米千秋

series

22
酔眼流旅日記「お返しのむずかしさ」
村松友視　絵＝灘本唯人

70
神戸25時・彼と彼女のアストロジー
「ライオン・クィーン」
玉岡かおる　絵＝髙濱浩子

16 神戸のお嬢さん　近藤美香　雨宮歌奈子
20 私の意見「人間みな仲間」古澤峯子
32 ＫＯＢＥＣＣＯ´99　木林敏郎　丸山小百合
34 コウベスナップ
36 ある集い　神戸ＳＴ会　関西日本スウェーデン協会
38 竹久夢二　四つの恋のものがたり
「茂次郎少年追憶、家出、上京へ」中右瑛
40 亀井一成のズームインズー「亡きチュウ太の遺児、誕生！」
42 はるにゃんのＨＹＯＧＯ　ＷＡＬＫ
「人間サイズのまちづくりをめざして」
45 神戸を福祉の街に「家庭養護促進協会の会員募集」橋本明
46 有馬歳時記「若女将はおっとり美人　元湯龍泉閣　当谷麻矢さん」
48 啓介いろは歌「ユーロ通貨いろは道歌」今井啓介／ヤジマンガ9908
49 トアロードまちづくり「トアロードスタイルブック発刊」
50 おなじみプロフェッサーＰの研究室　岡田淳
67 神戸っ子倶楽部通信　こうべシークイーン　ホテルオークラブライダルフェア
70 びっといん　ベイシェラトン　愛農人　四季愛菜ダイニング　海舟　宙
71 中村友一の味な街　レスタカード
72 ポケットジャーナル
75 小関みか子のTASTYゴルフ「小野東洋ゴルフ倶楽部」／愛読者プレゼント
76 イベント＆チケットプレゼント「もだかる9908」
78 海岸線、西へ。「タグボート」木村光理
80 海　船　港　「書を世界に　船の旅」望月美佐
82 北野ホットニュース　北野クラブ　風見鶏のタマゴ
84 神戸百店会　神戸屏月堂　サ・ソ・ボン
86 神戸うまいもん＆ドリンキング　菓子Ｓパトリー　上海風味料理・蓮
94 Reportタカラヅカ「情熱的な恋と優美なレビュー」

カメラ／米田定蔵　池田年夫　松原卓也　米田英男　森田篤志　シンイチ

ポHムド コウべ（∞円）

Photo by Takuya Matsubara

泣くなよ

青木　はるみ

サクソフォーンの
歌口から　わずかに唇をはずし
彼がささやいた
泣くなよ
私の瞳のなかでは何度でも
化粧積みレンガの煙突が落下して地面に
突きささるほどの出来ごとだったにしても
蝶が風にまかれる軌跡の
名付けるなら萌黄の響き
で
彼がささやいた
つかの間の写し絵に似た世界
蝶　風　響き　フラッシュバック
すべては滅んでいくにしても

酔っ払いは本当に馬鹿だなあ、って

中島らも〈作家〉

作家として、また脚本家・役者として活躍する中島らもさん。
灘中・灘高・ＹＭＣＡ予備校と青春時代を過ごした神戸で、
ヘンで「正しい」才能はどう育まれたのか？そして現在、
本当にアルコールは断ったのだろうか？どうなんです？

生田筋でインド人に出会う楽しみ

―12歳から22歳まで神戸で過ごされたんですね。

「いつも三宮か元町で遊んでました。友達と学校で待ち合わせて授業ボイコットしてくりだして、ジャズ喫茶でねばるっていうのが常でしたね。ねばるのも半端やなくて、コーヒー1杯で7時間とかね(笑)。変なやつが多くてね。机に缶ビース置いてむつかしい顔してジャズ聴いてる人とか、赤線ひきながらマルクス読んでるやつとか、国鉄の切符でシュパッとロウソク切ってまう拳法の達人とか、なぜか琵琶を持ってる人とかね」

―どんなお話をされていたんですか。

「ジャズ喫茶っていうのは音が大きくてしゃべれへんから、筆談ノートを作ってまわしてました。ものすごくばかばかしいことから、シュールレアリスムの思想なんていうことまで。死について話したり、『君が好きだ』って書いて告白もしましたね」

―そのころからお酒を飲んでいたんですか。

「金がなかったから当時は…シンナーやら(笑)せき止めシロップやら」

―お生まれは尼崎ですよね。

「越境入学してたんですよ」

―尼崎から神戸に通っていていかがでしたか。

「尼崎は大阪の町に似てます。悪くいう

■中島らも（なかじま・らも）
1952（昭和27）年、兵庫県尼崎生まれ。大阪芸術大学放送学科卒。広告代理店勤務を経て作家に。'92年「今夜、すべてのバーで」で吉川英治文学新人賞、'94年「ガダラの豚」で日本推理作家協会賞受賞。他の著書に「頭の中がカユいんだ」「僕に踏まれた町と僕が踏まれた町」など多数。最新刊は詩と音楽に関するエッセイを収めた「あの娘は石ころ」。

とダーティな町なんですよ。組事務所があったんで弾丸が飛び交っていたり、そのころは経済成長の証だったんやろうけど、煤煙がふりかかってきたりね。その点神戸はおっとりした町やったね。おっとりした人が多いのか、人間的に丸いんかな。22歳まで神戸で遊んでて、その後いきなり大阪の印刷所で働くんで大阪まで通うことになって、なんていうせわしない町なんだと思いました。まず歩く速度が全然ちゃうしね。信号には『あと0秒』とかね（笑）。待ってたらええやん、と思うねんけど。あと神戸は、生田筋通ってたらインド人がおりてきて、『あ、インド人や』っていう、そういう一瞬が楽しめる町です。YMCA予備校が生田神社のそばにあったんですよ。睡眠薬飲んでジャズ喫茶行ってましたからYMCAには3回しか行ってませんが（笑）」

酒はガソリンだった

―今はもうすっかりお酒は飲まれないんですか？

「一滴も飲まないわけじゃないですよ。いいことや嬉しいことがあったときは飲みます。今日はお酒日和だっていうときに（笑）。小説が書きあがって読み返して、『よくできたなあ』っていうときにも、自分へのごほうびとして」

―最初は、単にいつも飲んでいて書いていたのですか？　それとも書くために飲み始めたのですか？

「小説を書くということは、面倒くさい作業なんですよ。もう頭にできあがっているものを、原稿用紙にひき写すわけですからね。ものすごいじゃまくさい。僕はそういう面ではとてもせっかちな人間なので、酒によってそれが緩和される、ガソリン代わりなんです」

―お酒をやめられてからも、すらすら書かれるんですか？

「…面倒くさいですね（笑）。『仕事してるなー』っていう気がしますよ」

ギャグとホラーの構造

―文筆以外にも、演劇や音楽など広いジャンルで活躍されてますが、面倒くささという点では小説が一番ですか？

「台本は楽ですね。しゃべり言葉ばっかりで、心理描写や背景描写は要らないから、質量は小説に比べて薄いですよ。でもそこに至るまでは大変ですね。時代考証やら何やら」

―その台本で舞台に立つわけですが。

「セリフを覚えるっていうのが嫌ですね（笑）。昔、ギターのCとAmだけ覚えたところで作曲に入ろうとしてたみたいに、セリフを覚える前にアドリブに入ってギャグをかまそうとしてしまうんですよ（笑）。悪いクセなんです」

―らもさんの書かれるホラーはギャグの要素も含んでますね。

「スイカに塩をふるとスイカの甘味がより強烈に感じられるように、笑いをもりこむことによって怖さをひきたたせているんです。ギャグとホラーっていうのは構造としてはよく似ていますね。様図かずおさんのホラーなんかは、笑おうと思えば大笑いできるという」

―お涙頂戴的なものには嫌悪感を抱かれています？

「…べつにどうでもええねんけど（笑）、そのために書く、泣かせるために書くっていうことはないね。基本的にギャグ人間なんです」

―次回作のご予定は？

「次は、イマジネーションを綴っていくような、小説といえないような小説を書こうと思ってます。シュールレアリスムに近いものを。…でも今、スランプに陥ってなまけてるんです」

神戸をまた一から開拓せんと

―できれば神戸の方に引っ越したい、とエッセイに書かれてましたね。

「そうですね。僕がしゃべってるのは神戸弁なんです。『何しとん』とかね」

―震災後の神戸はいかがですか。

「最近、風俗店が増えて見苦しいな、というのはありますね。そういうのの頻度としては大阪の方が多いんだろうけど、『大阪やから仕方ないやん』、みたいな納得の仕方はできる。でも神戸ってお上品な町やったからね。僕はここに住んでる人間じゃないから小言を言える立場とちがうけど。でも僕は、生まれ故郷や住んでるところを、何から何まで好きだという、溺愛するっていうのはおかしいと思うんですよ。その場所に多少憎しみを持ちながら住む、っていうのが普通だと思います。それにしても神戸は震災後様変わりしましたね。僕、実は方向音痴なんですよ。だから○○食堂を右に、とか建物を目安にしてたんですが、それがなくなってしもたからね。一から開拓せんとあかんという（笑）」

〈6月10日さんセンタープラザで〉

撮影／米田英男　構成／矢島　潤・鳥羽朗子（本誌）

■特別対談

淡路夢舞台に自然の回復を見る

安藤忠雄〈建築家〉
津田貞之〈株式会社夢舞台代表取締役社長〉

平成十二年三月「淡路島国際公園都市」にオープンする「淡路夢舞台」は海、花、森など自然に囲まれたコミュニケーション施設で淡路花博「ジャパンフローラ2000」の会場の一部ともなる。自然の回復作業を目的とした淡路夢舞台。その設計を手がけた建築家の安藤忠雄さんとホテルの建設と経営をはじめ、施設の管理運営をされる（株）夢舞台の代表取締役社長津田貞之さんに淡路夢舞台の魅力について語っていただいた。

津田貞之さん

工事の前に木を植えました

津田　もともと関西国際空港の埋め立てのときに土砂を採取して、百二十ヘクタールもの森林が破壊された。跡地をゴルフ場にという話もあったんです。でも、明石海峡大橋の完成にあたって、自然を回復し大阪湾ベイエリアの交流拠点として整備しようではないか、との安藤先生らの提案に対し貝原知事が決断された。これが、淡路夢舞台計画なんです。まず、工事のはじまりに木を植えることになりました。

安藤　ふつうは建築物ができてから植林を行う。でもそれでは建築が主体になってしまって環境と共生しないんです。そこではじめに苗木を植えたらどうかという話をしたんです。そのときに十～二十センチメートルだった苗木は今ではもう三、四メートルになる。この明石海峡公園は日本では十六番目の国営公園なんですが、緑化公園としては圧倒的にレベルが高いですね。

津田　今はキジやウサギ、タヌキなどの小動物もいますしね。このプロジェクトはもともと石灰の採掘地で岩山になっていたところを花と緑があふれる公園にしたという、カナダのブッチャードガーデンの修復過程を参考にしました。

安藤　日本の一九七〇～八〇年代の開発、そして破壊。それを修復したかった。環境、地域社会の見本になればと思っています。削り取った斜面の緑化、国営公園の花。そして、ブッチャードガーデンよりすごいのは施設部分です。僕が期待しているのは、国際会議場。コンベンション自体はどこでもできる。大都市のホテルでもできるしね。ただ、コンベンションとコンベンションの間の時間の使い方が違う。その時間をどう休息するか。森に囲まれた施設を散策するのと、喫茶店でコーヒーを飲んで時間をつぶしているのでは、わいてくるイマジネーションも違うはずです。コンベンションで滞在する短い時間を有効に活用してほしい。淡路夢舞台に遊戯施設はないけれども、自然がある、それだけで十分なんです。

淡路夢舞台完成予想図

安藤忠雄さん

津田　野外劇場なら、二千人規模の会議にも対応できます。雨が降ったらカッパを着ないとだめですけれど（笑）。

震災で知った日本人の強さ

津田　夢舞台の計画本格化が一九九三年で、一九九五年に震災。このとき計画の継続が問題になったんですが、震災の教訓をふまえた上で、この事業を復興プロジェクトの一つと位置づけ、推進を計ろうと貝原知事の決断をいただいて、安藤先生に設計の変更をお願いしたんです。

安藤　僕は、震災復興に参加して日本人の持つ協調心、忍耐力に目を見張った。そのシンボルが明石海峡大橋だと思うんです。人間の技術力を見直した。淡路夢舞台にもとても多くの人々の力を感じて、ワクワクしますね。

津田　淡路島は国生みといわれるように神話の時代から敬虔な場所として知られてきたんです。そんな淡路島で、失った自然がだんだん回復してくることに、島民の皆さんも喜んでいただいているようです。

安藤　垂水にジェームス山があるでしょう。昔、ジェームスという人がその山に別荘を造ってその名がついたんですけれど、淡路島にも彼は別荘を持っていた。彼は日本の中でここが一番と、その二ヶ所を選んだんです。つまり世界的な見地からも淡路島は素晴らしい場所なんです。

自然と共存するユニークな施設

安藤　海に開かれたり、空がポッカリ見えたりと、様々な表情を持つ百個の庭園を作りました。水の中に入っていく教会や、千の噴水のある池。それに、水面に百万枚のほたて貝を敷き詰めた「貝の浜」も面白い。なんせ日本人は貝好きですから（笑）。

津田　ウェスティンホテルの部屋にもアートワークとして貝を使用しているものがあるんです。またホテルすべての部屋から海が見えます。お客様が海の上に乗っているような気分になっていただきたい。

安藤　大阪湾が意外にきれいなのに驚きますね。夢舞台は大阪湾、瀬戸内海の監視塔の役目もはたしてくれるでしょう。汚しちゃいかんなという意識が強まってほしいですね。

淡路を「花の島」に

安藤　ジャパンフローラは半年で終ってしまう「テーマパーク」ですが、淡路夢舞台はその後も育っていかなければならない「テーマパーク」なんです。このテーマパークは年を経るごとに風景が変っていくんです。以前に来たときとは自然の状態が違っている。木はもっと大きく、森はもっと深くなっているでしょう。

津田　淡路島には淡路景観園芸学校もあります。ただ鑑賞するだけでなく、緑や花について学び、育てる島になればいいですね。

安藤　日本人はまだ生活のなかに花を取り入れることに馴れていない。淡路夢舞台が花の産業の発信基地として、雇用にもつながればいいですね。

津田　「花の島」ですね。

安藤　近く、大阪にユニバーサルスタジオのテーマパークができるそうです。大阪は人工的なもので、こちらは自然。関西において、お互いが交流すればいいですね。ユニバーサルスタジオで遊んで、夜は淡路夢舞台に泊るというような。京都も含めた京阪神地域が一体となって取り組んでいけたらいい。神戸だけでがんばる、という時代はもう終わったんじゃないかな。

津田　昼間淡路夢舞台にきた人は、近いから泊らず帰っちゃうなんてことにならないといいですけれど（笑）。

〈七月六日（株）夢舞台神戸事務所で〉

淡路夢舞台
AWAJI YUMEBUTAI

■株式会社夢舞台
兵庫県津名郡東浦町大磯3　TEL.0799-74-1000

2001年、近松をもってイギリスへ
シェイクスピアの国の人とのつながりを

◇対談シリーズ〈歌舞伎を語る〉

中村鴈治郎
〈人間国宝　歌舞伎俳優〉

VS

池田昭彦
〈近畿コカ・コーラボトリング株式会社取締役社長〉

池田昭彦社長

中村鴈治郎丈

大阪松竹座で七月大歌舞伎『増補忠臣蔵　本蔵下屋敷』に桃井若狭之助役で出演中の中村鴈治郎丈を、この6月に東証・大証一部上場を果たした近畿コカーラボトリング株式会社の池田昭彦社長が訪ねた。現在「シェアと利益の同時達成」を目指して邁進中の池田社長は、プライベートでは長年の歌舞伎ファン。鴈治郎丈の楽屋にて、熱のこもったインタビューが繰り広げられた。

近松歌舞伎を伝統のなかに残したい

池田　今回の舞台では立役ですね。私などは、若い頃によく拝見した女形の印象が強烈に残っているのですが。

鴈治郎　最近は立役のほうが多うございますね。まあ両方いたしますけれど。やっぱりね、女形というものはやっておくほうが、体に色気、風情ができる。和事というか、大阪の男の役というのは、芸のテクニックプラス、風情が漂わないと役柄にならないんですよねえ。

池田　いろいろ役柄がございますが、どの程度まで、その役者さんの工夫で自由にやれるものなんですか。

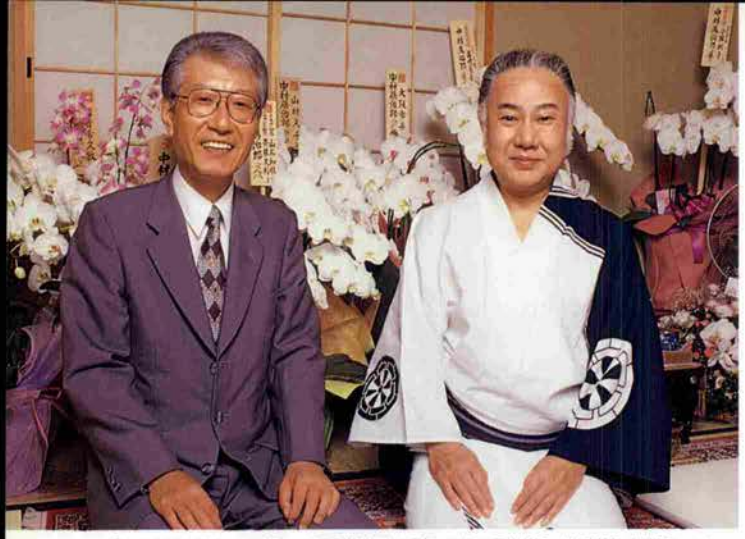
鴈治郎　私の場合は全面的に自分の工夫ですね。もちろん先人のものも参考にはさせていただきますけれど。私の場合、役柄から出てくるドラマ性というのを大事にいたしますのでね。でもやっぱり歌舞伎の基礎というものは大事にしておいたうえでやらないと。基礎のうえに、自分の工夫を出させていただくということが大事だと思います。

池田　近松門左衛門の作品をよくおやりになるわけですが、その神髄とは。

鴈治郎　アドリブの多い和事の難しさは、台詞を覚えるよりも先に役柄の設計図を引かないといけないことなんですが、近松の芝居はそれとは逆でね。絶対に台詞をきっちり覚えないといけません。あの難しい言葉をちゃんと覚えてリズムを作らないと、芝居が崩れてくる。作り方が全然違うんです。つまり、私が近松の作品を大事にするっていうことは、ひとつの違ったジャンルの歌舞伎をつくりたかったわけなんですよ。「東洋のシェイクスピア」といわれる近松なのに、歌舞伎の長い伝統のなかに、近松ものの歌舞伎がなかった。文楽にもなかったんですよ。昭和28年に『曾根崎心中』を上演させていただきまして、それがけっこうな評判をいただいて。近松ものの浄瑠璃ができたのはその後なんです。

池田　それはすごい。向こうが先なんだとばかり思ってました。

鴈治郎　近松歌舞伎は伝統のなかに残



「七月大歌舞伎」に出演中の中村鴈治郎丈を訪ねる池田昭彦社長（大阪松竹座楽屋にて）

していきたいし、残るんじゃないかなと思うんですね。イギリスの人がシェイクスピアを誇りに思っているように、近松みたいな素晴らしい劇作家が自分の国にいたということを、少しでもわかってもらえればと思っております。

多様性を考えつつ「人間」に焦点をあてる

池田　私どもの会社でも、昔ならコカ・コーラだけでよかったのがだんだん多様化してきましてね。でもそのなかで中心がなきゃいかん、みたいなことがある。近松作品を見ていると、そういう時代の多様性を見ながら、人間の「業」みたいなものに焦点を合わせているように思えます。

鴈治郎　確かに時代背景みたいなものをよく踏まえてる。ひとりの人間の人生を考えながらも、全体の世界を見ながら書いているような気がしますね。

池田　私は「お客さんっていうのは生きてるんだよ」ということを、つねに言っているんです。みんなそれぞれ歴史があり、運命も背負いながら生きてる。その人たちに、喜んでもらえるものは何かっていうことを、毎日毎日考えていかないといけないと。

鴈治郎　われわれも同じです。同じ役をしていても、お客様は毎日違いますからね、毎日新しい商品を売ってるみたいなものなんですよね。毎日が初日のような気持ちでやりませんと。

池田　まあそこが、開発なさる方の大変なご苦労なんだろうと思います。

鴈治郎　そりゃもう、ご一緒でございましょう（笑）。

近松歌舞伎で芸術の国際交流を

池田　近松座の次回のご予定は。

鴈治郎　来年3月です。なかなかできなくてね。そうそう、今度近松をロンドンでやる話があるんですよ。2001年に政府の日英文化交流事業がございまして、それで行くんですけれども。向こうから「近松のものを」っていうお話があったんです。今年9月にはグローブ座の400年祭があって、向こうの芸術監督に呼ばれて対談をしてくる予定もあります。シェイクスピアと近松の交流みたいなものが、これから盛んになるといいですね。そういう役割も果たせればと考えております。

池田　いちばんの外交ですね（笑）。

鴈治郎　いやいや。そんな大袈裟なもんじゃないですよ（笑）。伝統芸術をやっている国の人達とつながりを持てたほうが楽しゅうございましょう？

「けいせい壬生大念仏」高遠民弥を演じる中村鴈治郎丈

池田　理解し合うのに、いちばん近道ですよね。

鴈治郎　確かに向こうの人はなかなか厳しゅうございますよ。だけど近くなると、非常に深いものがありますのでね。私は英語はそんなにうまくできないけれど、こういうことをやってる人間っていうのは共通のものがね。

池田　共通の言語があるんですね。

鴈治郎　そうなんでございますよ。ですから楽しい。大袈裟な話でなく、ひとりの人間としてね、楽しみだなと思っております。

池田　素晴らしいですね、そういう多方面のご活躍。

鴈治郎　いえいえ、私のことだから、構わずどんどん行ってしまうので（笑）、ちょっといけないとは思っているのですけどね。まああんまり悪いことしてるようにも思えないし（笑）。このほうがいいかな、と。

池田　拝見するほうとしても、楽しみがあっていいですよ（笑）。

（大阪松竹座楽屋にて）

近畿コカ・コーラボトリング株式会社は、この6月1日に東証一部・大証一部の全国銘柄への切り替えを果たしました。①シェアと利益の同時達成②ハイクオリティー・ローコストプロデュースの推進③人と組織の活性化④グループ事業の自立⑤企業価値の向上――五つの重点活動計画を掲げ、一段の体質強化を図るとともに、お客様に喜んでいただける製品をお届けしてまいります。